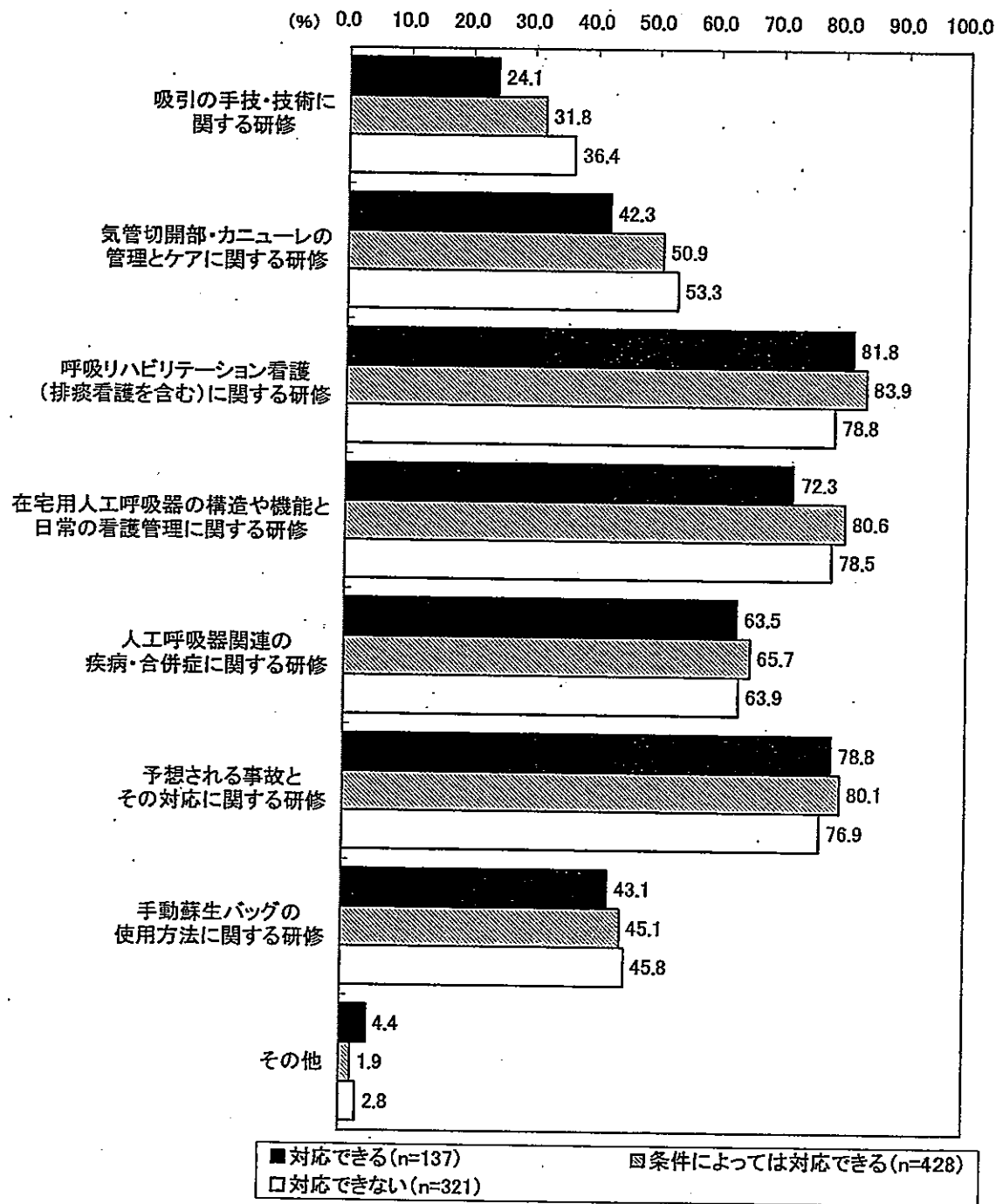


○施設の管理者として職員に受講してもらいたい研修の内容としては、「呼吸リハビリテーション看護（排痰看護を含む）に関する研修」「在宅用人工呼吸器の構造や機能と日常の看護管理に関する研修」「予想される事故とその対応に関する研修」などが7割以上の施設で挙げられた。一方、手技や技術に関する教育ニーズは比較的多くなかった。

図表 16 職員に受講させたい研修の内容・人工呼吸器利用者への対応可能性別

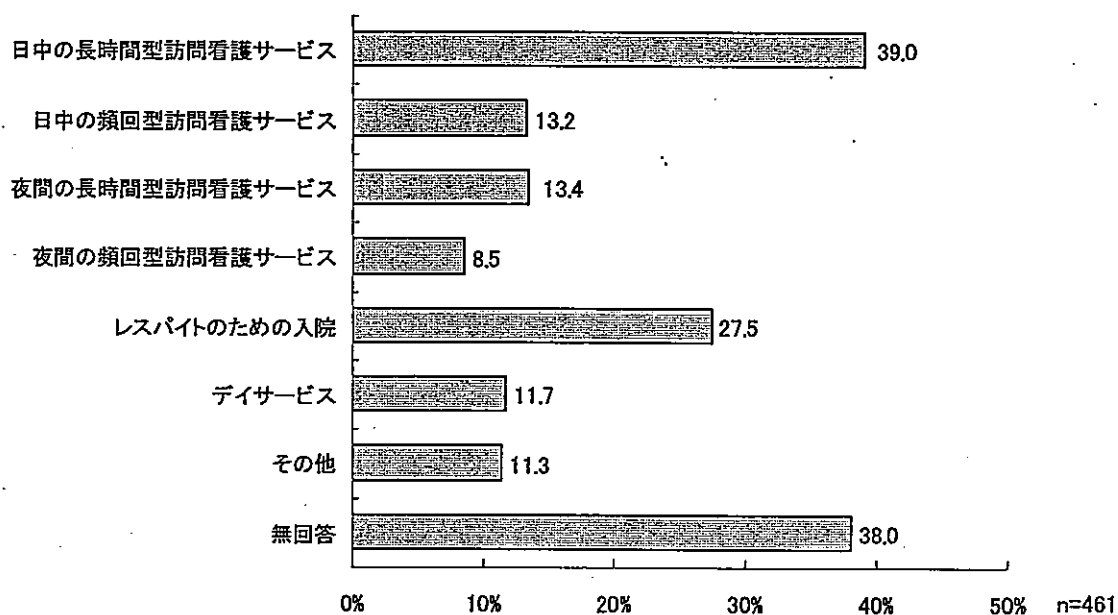


(2) 利用者本人・家族のニーズ

○利用者本人や家族のサービスに対するニーズ（利用者の自己負担がないものと仮定して利用者本人・家族への聞き取りを基に回答したもの）としては、「日中の長時間訪問看護」39.0%、「レスパイトのための入院」27.5%が多く挙げられた。

○一方、「夜間の長時間型訪問看護」13.4%、「夜間の頻回型訪問看護」8.5%など夜間のサービスへのニーズは多くなかった。

図表 17 利用者本人・家族のサービスニーズ



○自由回答からも日中の長時間訪問、レスパイトのための入院への要望が見られた。また、日曜・祝日の訪問看護師への要望も見られた。

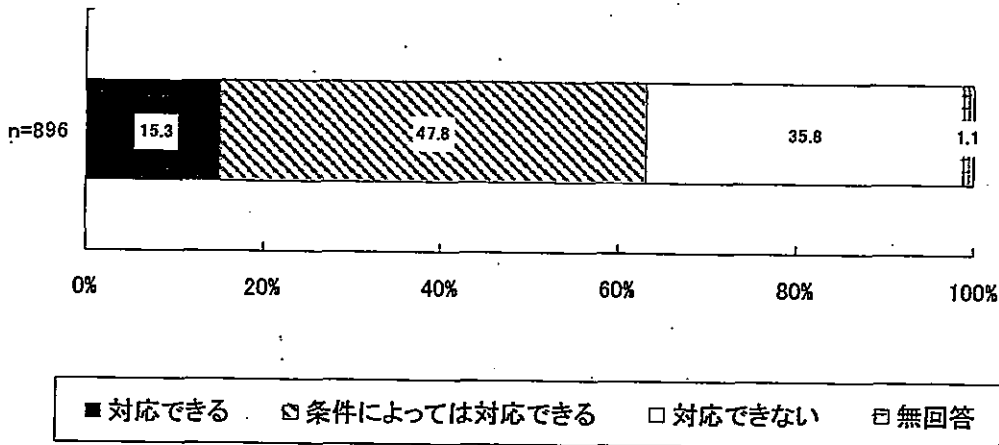
Ⅲ. 調査結果

1. 人工呼吸器装着利用者への対応の可能性

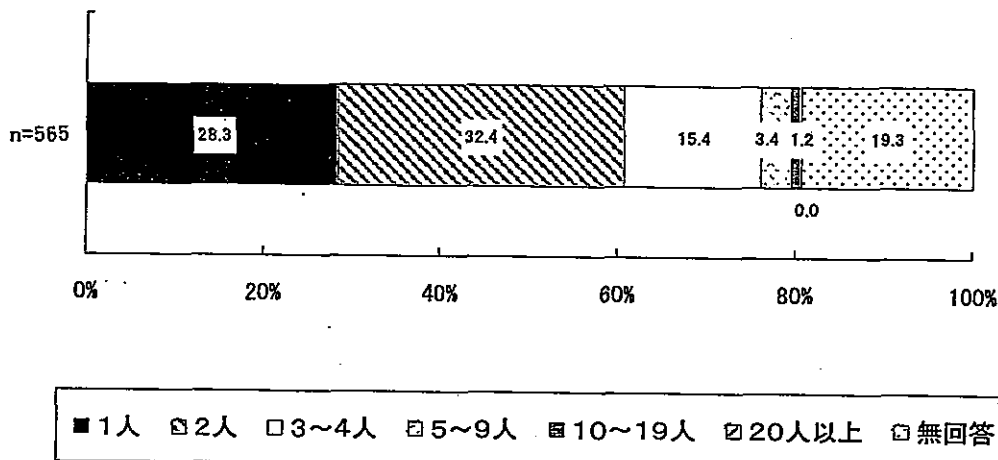
(1) 人工呼吸器装着利用者への夜間を含めた対応の可能性

- 人工呼吸器装着利用者への夜間を含めた対応の可能性について「対応できる」15.3%、「条件によっては対応できる」47.8%を合わせて約6割が対応可能である。
- また、対応可能な場合の最大利用者数は「1人」28.3%、「2人」32.4%などで、平均は2.1人であった。

図表 18 人工呼吸器装着利用者への夜間を含めた対応の可能性



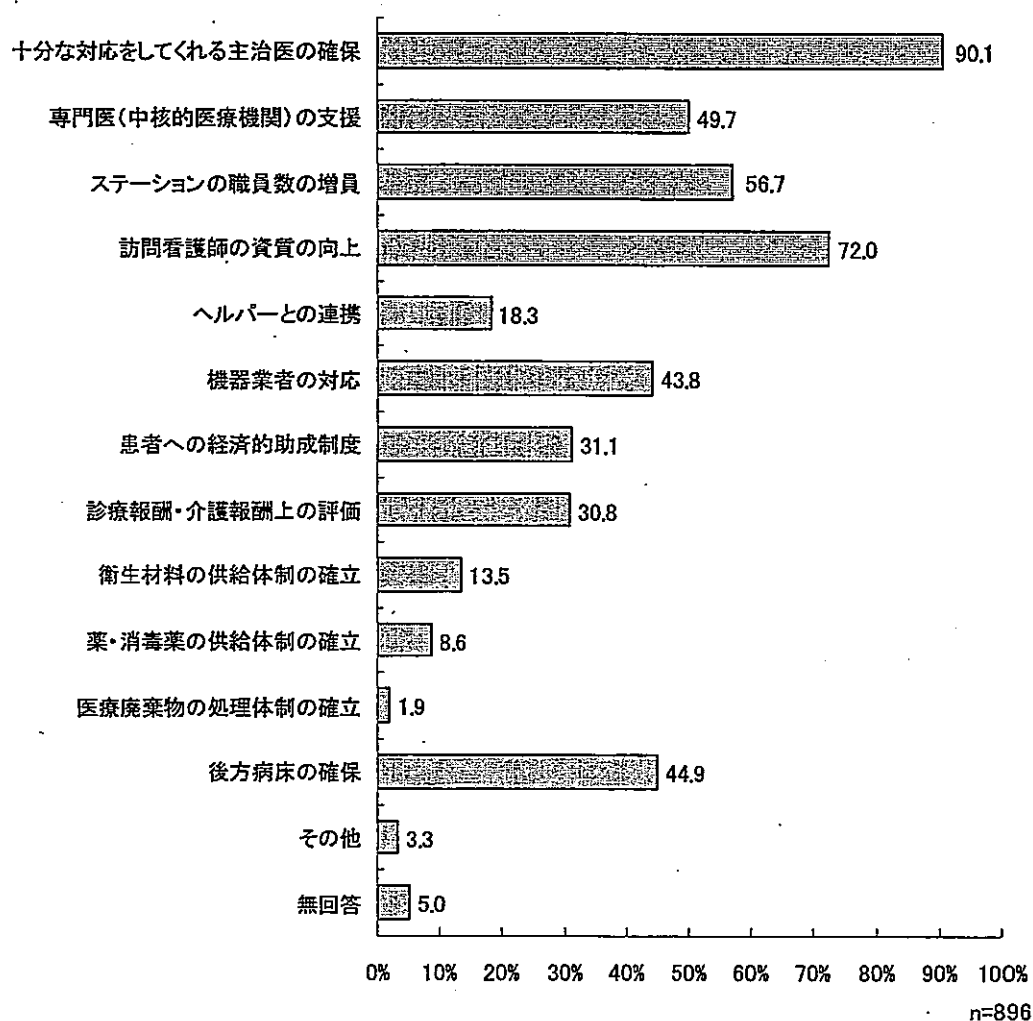
図表 19 24時間対応が可能な最大利用者数



(2) 人工呼吸器装着利用者への24時間対応を可能にするために必要な条件

- 人工呼吸器利用者への24時間の対応を可能にするために必要な条件として、最も多かったのは「十分な対応をしてくれる主治医の確保」90.1%、次いで多かったのは「訪問看護師の資質の向上」72.0%「ステーションの職員数の増員」56.7%であった。

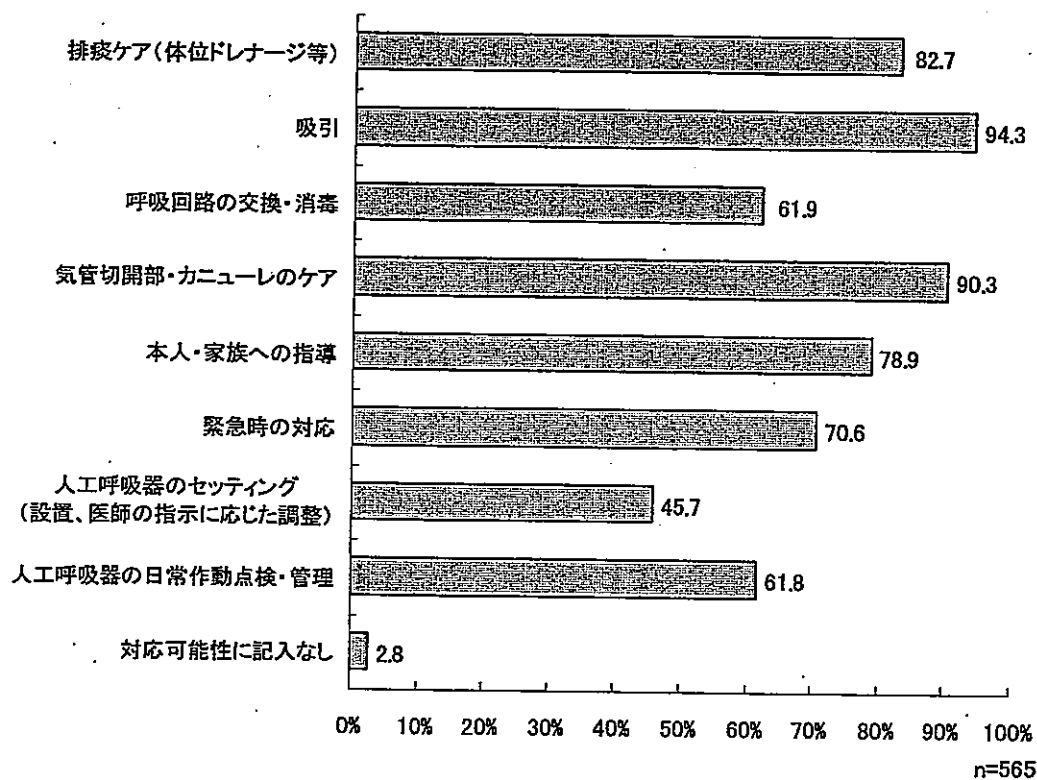
図表 20 人工呼吸器装着利用者への24時間対応を可能にするために必要な条件



(3) 人工呼吸器を装着している方への行為別対応可能性

- 人工呼吸器を装着している方の行為別対応可能性については、最も多かったのは「吸引」94.3%、次いで「気管切開部・カニューレのケア」90.3%、「排痰ケア（体位ドレナージ等）」82.7%であった。

図表 21 人工呼吸器を装着している方への行為別対応可能性

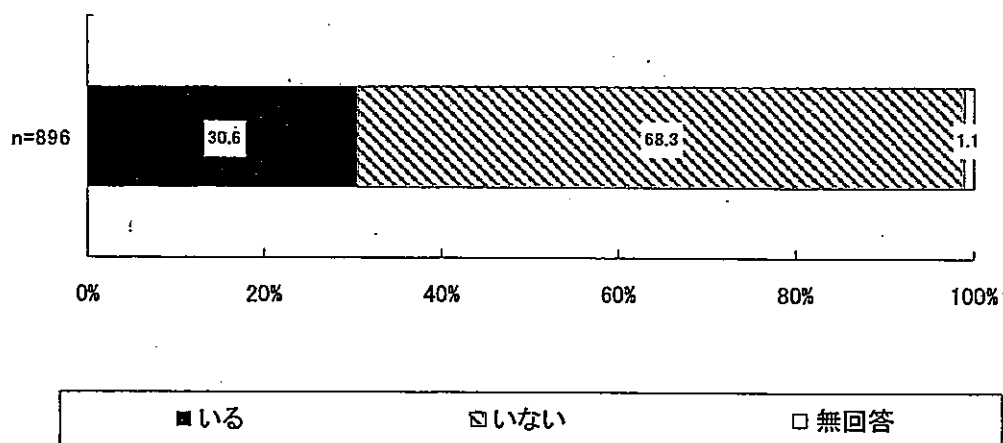


2. 人工呼吸器装着利用者への対応の実績

(1) 人工呼吸器を装着している利用者の有無

- 人工呼吸器を装着している利用者が「いる」のは30.6%、「いない」のは68.3%であった。

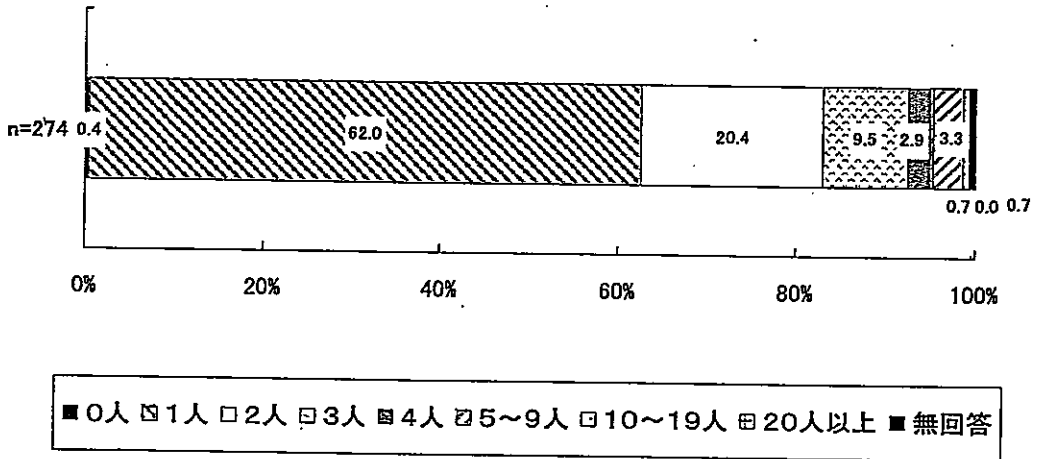
図表 22 人工呼吸器を装着している利用者の有無



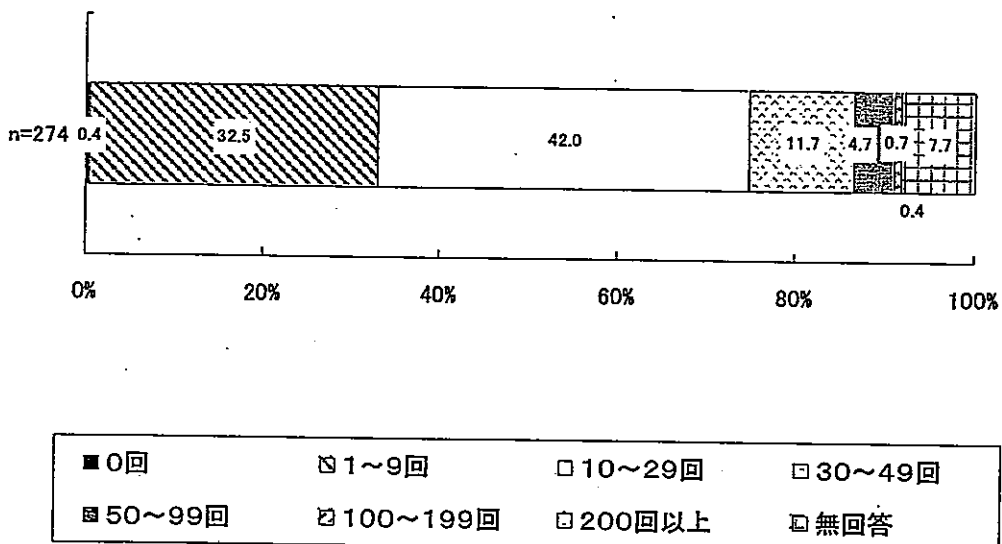
(2) 2002年12月1カ月の人工呼吸器装着利用者の状況

- 利用者数実数は「1人」が最も多く62.0%、次いで「2人」20.4%であった。平均では1.7人/月であった。
- のべ訪問回数は「10~29回」が最も多く42.0%、次いで「1~9回」32.5%であった。平均訪問回数は19.6回/月であった。

図表 23 利用者実数



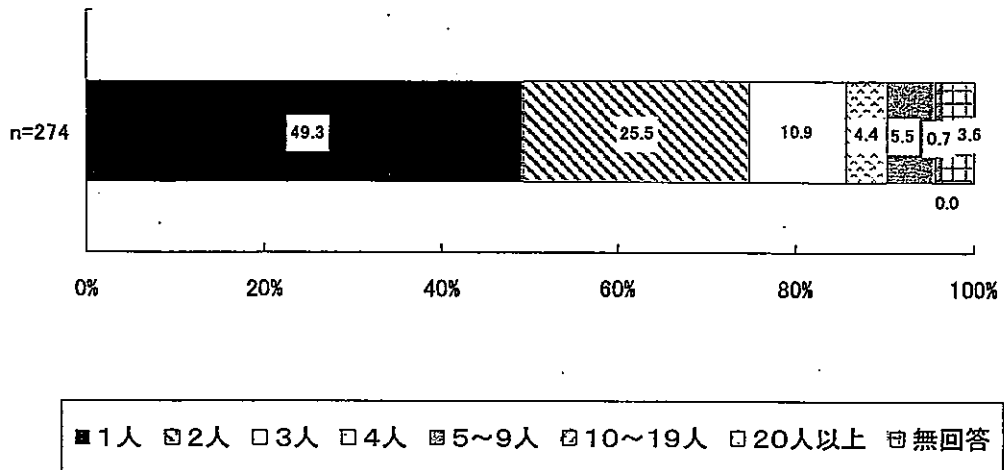
図表 24 のべ訪問回数



(3) 過去一年間の人工呼吸器装着利用者実数

- 利用者数実数で最も多かったのは「1人」49.3%、次いで「2人」25.5%、「3人」10.9%であった。平均では2.0人/月であった。

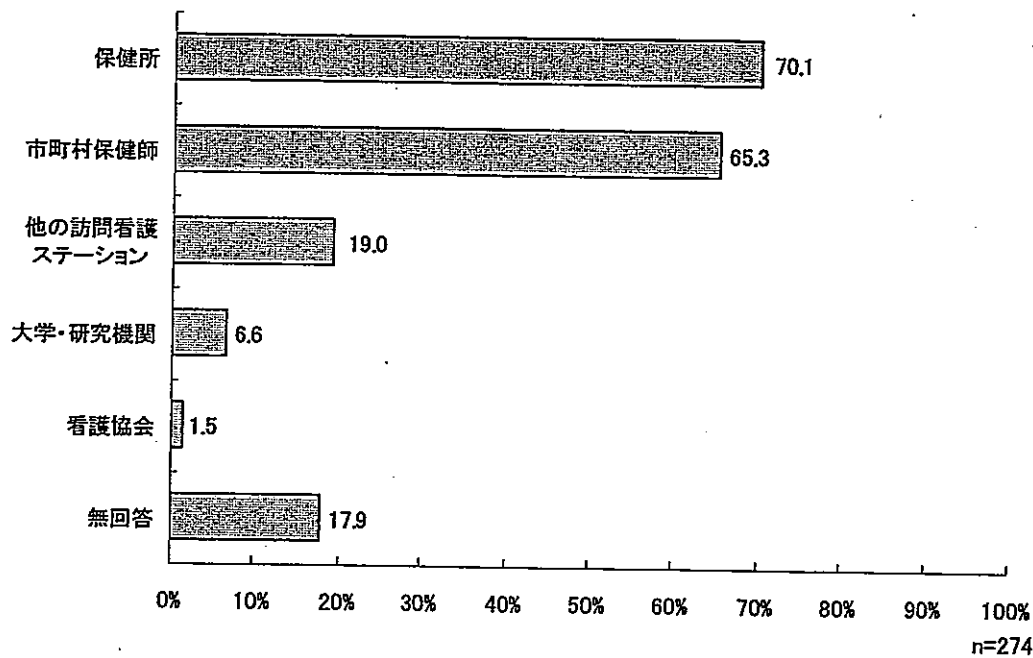
図表 25 利用者実数 (2002年1月~12月)



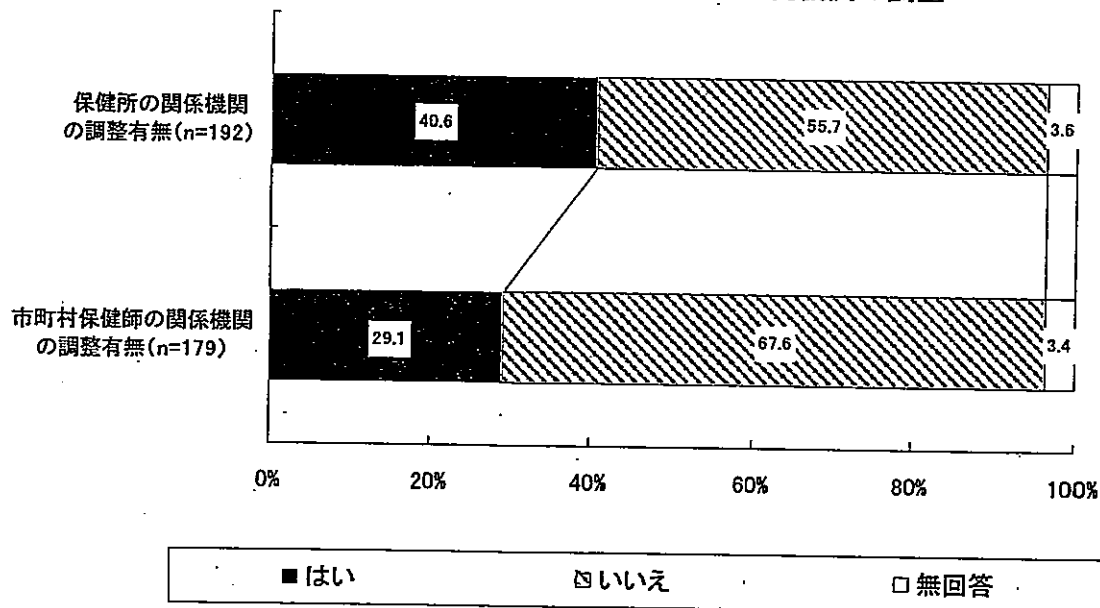
(4) 人工呼吸器装着利用者に関する他機関との連携の状況

- 人工呼吸器装着利用者に関して連携している機関は、保健所 70.1%、市町村保健師 65.3%、他の訪問看護ステーション 19.0%、大学・研究機関 6.6%であった。
- 連携している場合に保健所が関係機関の調整を行っているのは 40.6%、行っていないのは 55.7%である。
- 連携している場合に市町村保健師が関係機関の調整を行っているのは 29.1%、行っていないのは 67.6%である。

図表 26 他機関との連携状況



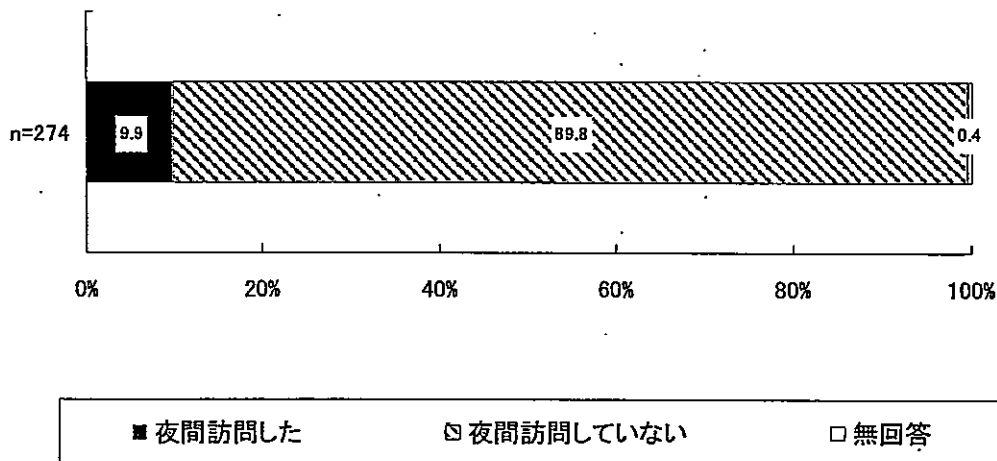
図表 27 保健所・市町村保健師による他機関の調整



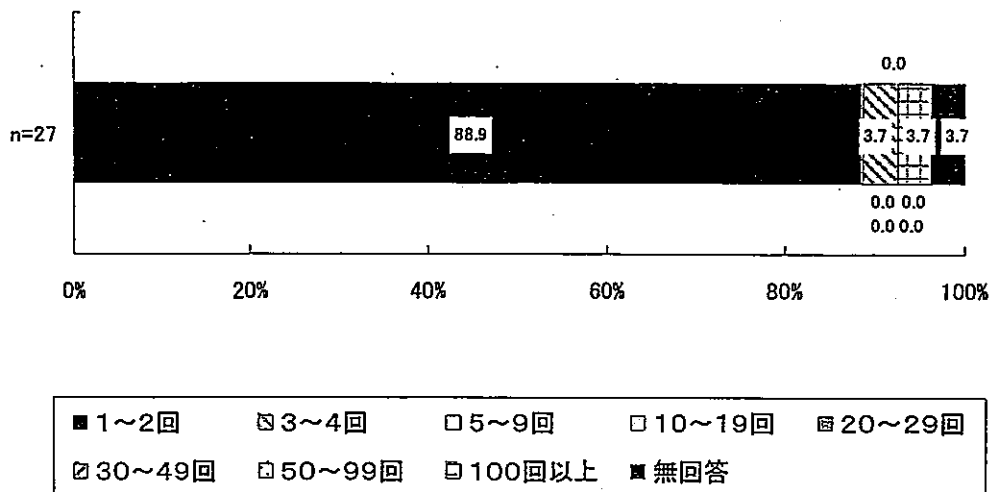
(5) 人工呼吸器装着利用者への夜間訪問の状況

- 2002年12月1ヵ月間における人工呼吸器装着利用者への夜間訪問に関して「夜間訪問した」9.9%、「夜間訪問していない」89.8%であった。
- また、夜間訪問した施設で12月の夜間訪問の回数で最も多いのは「1～2回」88.9%、次いで「3～4回」3.7%であった。平均は8.5回であった。

図表 28 夜間訪問の状況



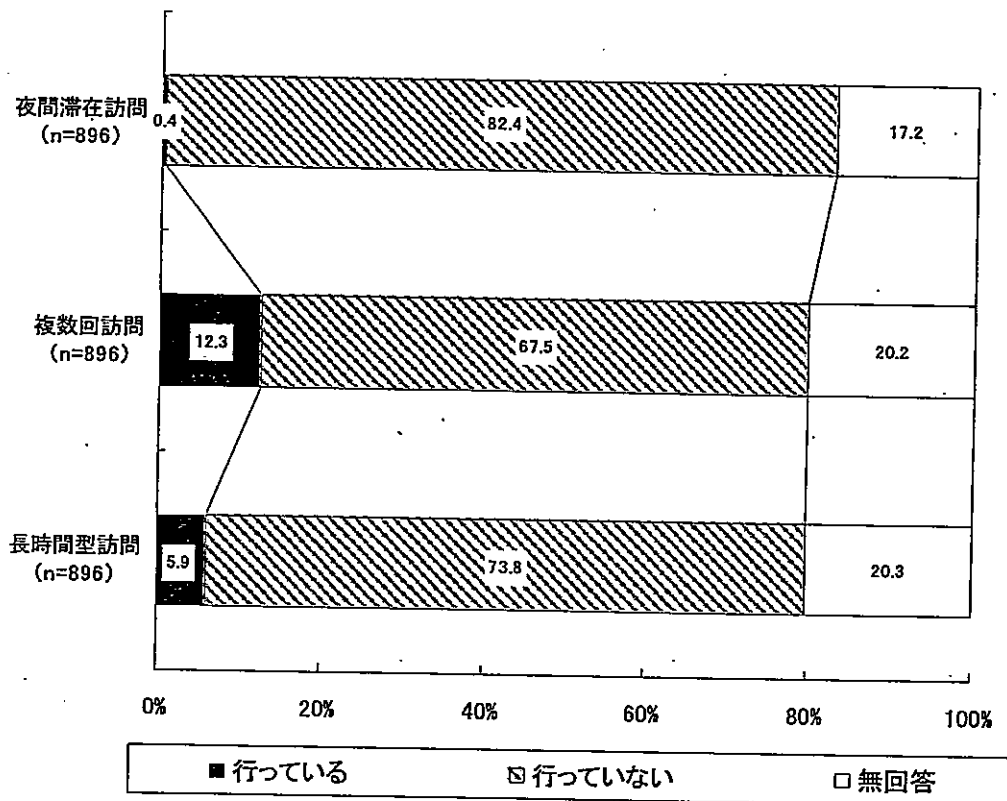
図表 29 12月の夜間訪問回数



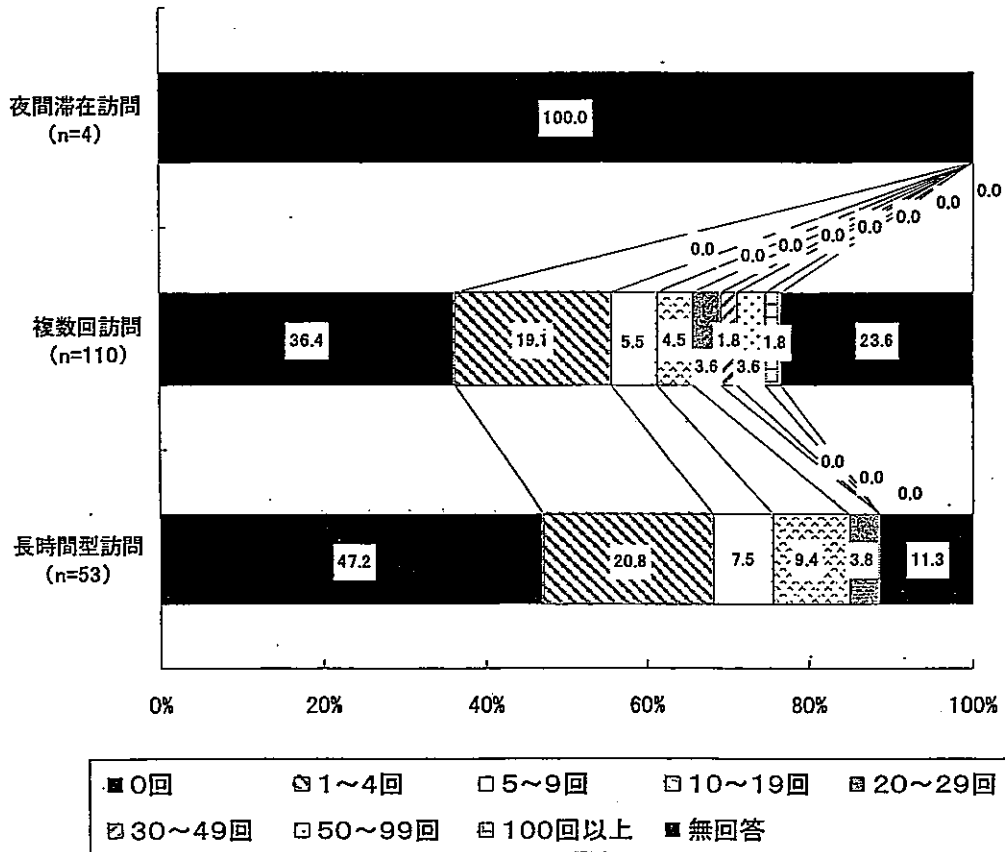
(6) 人工呼吸器装着利用者への訪問形態

- 人工呼吸器を装着している利用者への夜間滞在訪問の状況は「行っている」0.4%、「行っていない」82.4%であった。
- また、収入次第で「対応できる」のは6.0%、「対応できない」のは65.0%であり、対応できる場合の1回の希望金額は平均で17,475円であった。
- 人工呼吸器を装着している利用者への1日複数回訪問の状況は「行っている」12.3%、「行っていない」67.5%であった。
- また、収入次第で「対応できる」のは20.0%、「対応できない」のは40.5%であり、対応できる場合の1回の希望金額は平均で6,364円であった。
- 人工呼吸器を装着している利用者の長時間型滞在訪問の状況は「行っている」5.9%、「行っていない」73.8%であった。
- また、収入次第で「対応できる」のは18.9%、「対応できない」のは41.5%であり、対応できる場合の1回の希望金額は平均で13,455円であった。
- いずれの形態でも対応できない理由としては、マンパワーの問題が多く挙げられた。

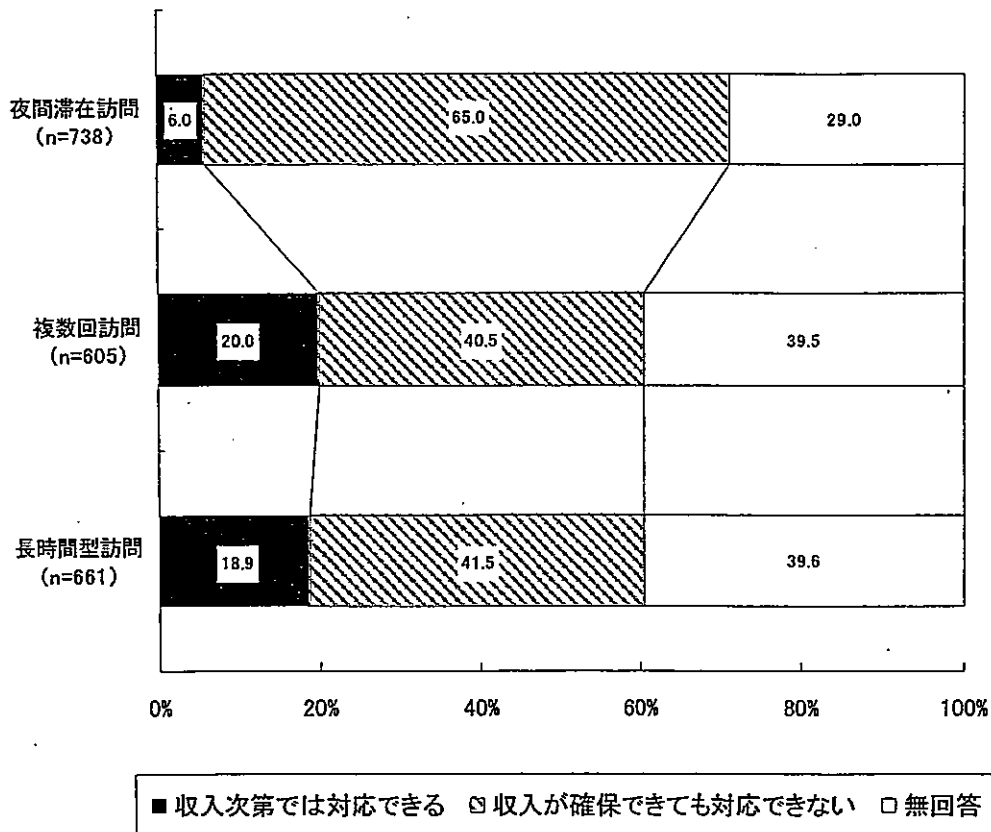
図表 30 訪問の状況



図表 31 訪問回数の状況



図表 32 各形態の訪問への対応可能性

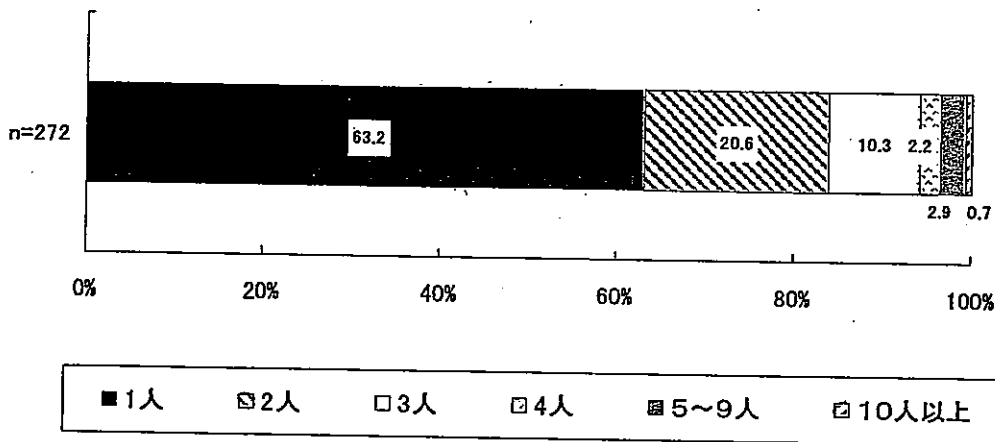


3. 人工呼吸器を装着している利用者の状況

(1) 人工呼吸器を装着している利用者の数

- 人工呼吸器を装着している利用者があるステーションについて人工呼吸器装着利用者数で最も多いのは「1人」63.2%、次いで多いのは「2人」20.6%であった。
- また、人工呼吸器を装着している利用者の平均人数は0.5人であった。

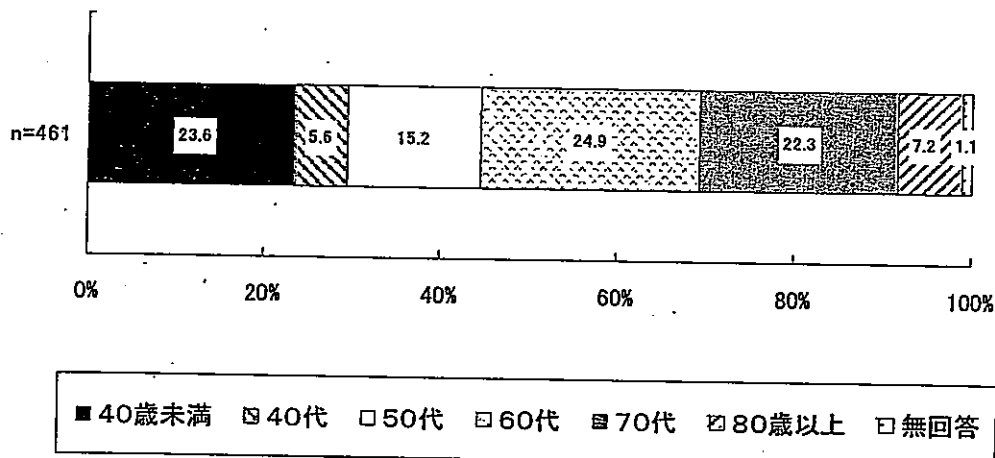
図表 33 利用者数



(2) 年齢

- 人工呼吸器を装着している利用者の年齢は「60歳代」が最も多く24.9%、次いで「40歳未満」23.6%であった。
- また、平均年齢は54.9歳であった。

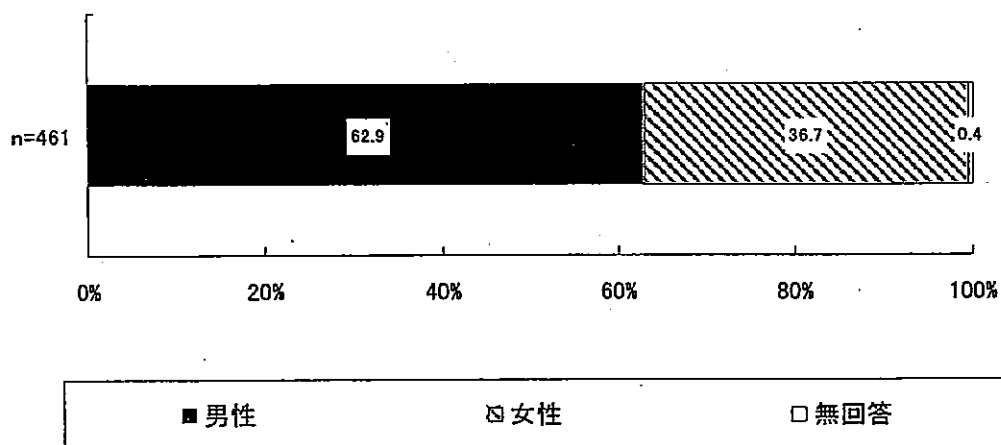
図表 34 年齢



(3) 性別

- 人工呼吸器を装着している利用者の性別は「男性」62.9%、「女性」36.7%であった。

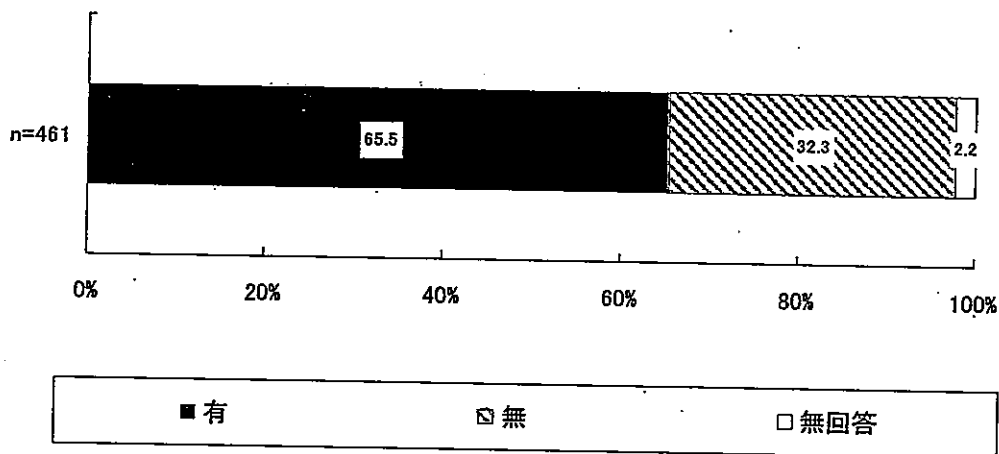
図表 35 性別



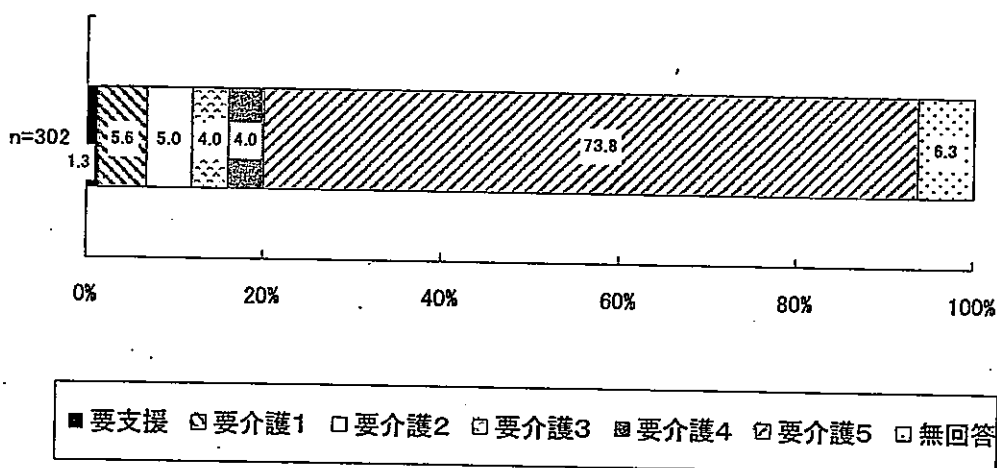
(4) 要介護認定の有無

- 人工呼吸器を装着している利用者が要介護認定を受けているのは65.5%、受けていないのは32.3%であった。
- また、要介護認定を受けている場合、状態区分では「要介護5」が73.8%とほとんどを占めていた。次いで「要介護1」5.6%、「要介護2」が5.0%であった。

図表 36 要介護認定の有無



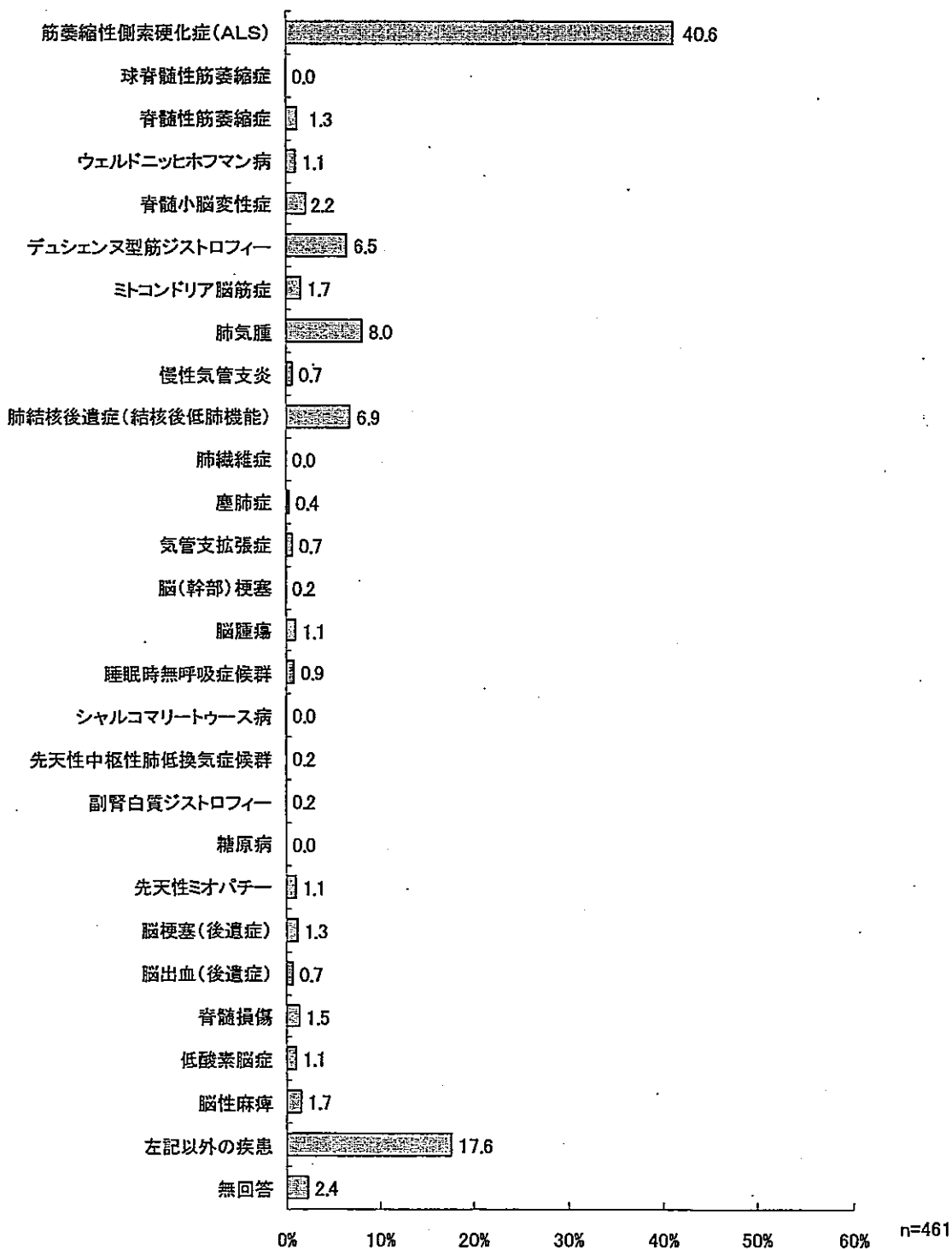
図表 37 要介護認定



(5) 主病名

- 人工呼吸器を装着している利用者の主病名で最も多かったのは「神経筋疾患筋萎縮性側索硬化症 (ALS)」が 40.6%と多くを占めていた。次いで「肺気腫」8.0%、「肺結核後遺症 (結核後低肺機能)」6.9%などであった。

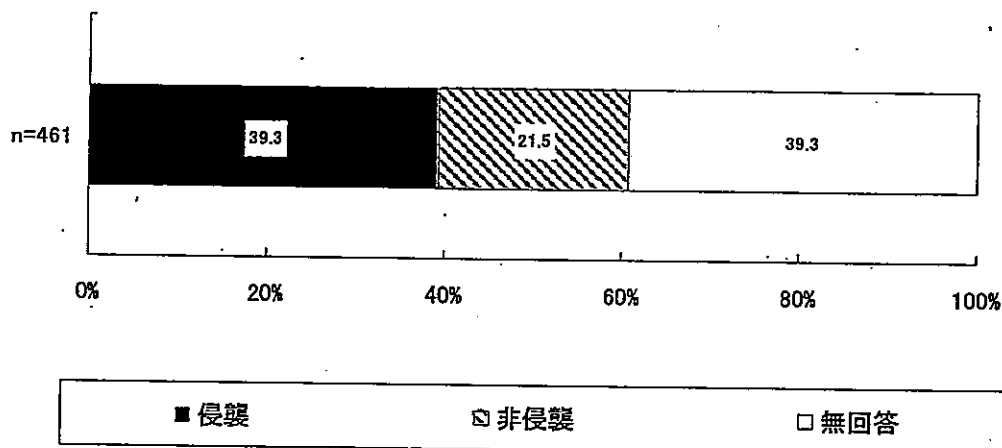
図表 38 主病名



(6) 呼吸管理

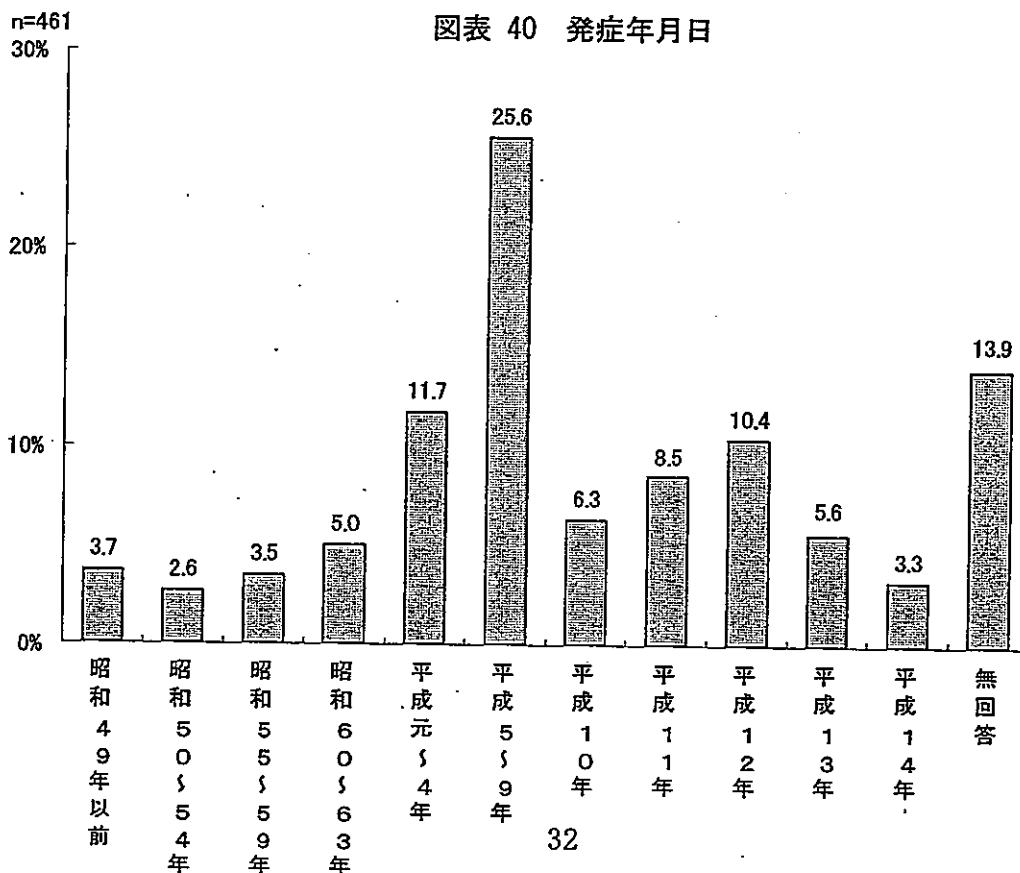
- 人工呼吸器を装着している利用者の呼吸管理は「侵襲」39.3%、「非侵襲」21.5%であった。

図表 39 呼吸管理



(7) 発症年月日

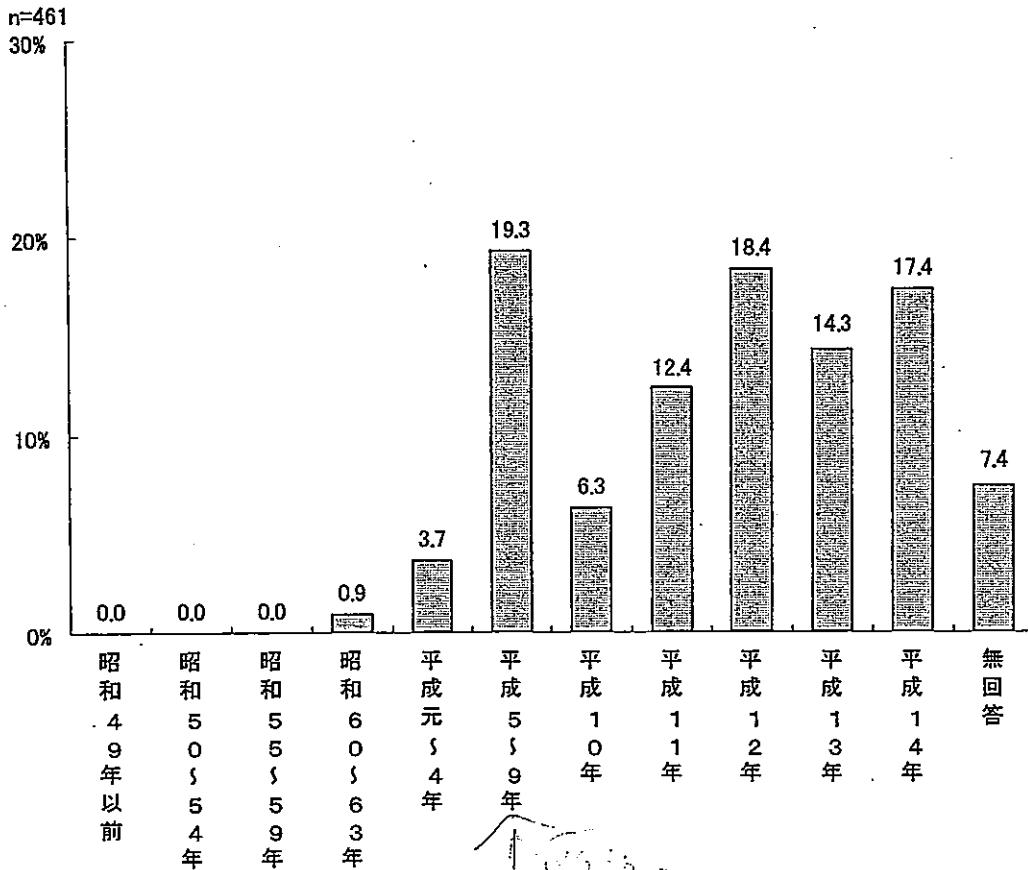
- 人工呼吸器を装着している利用者の発症年月日は過去1年以内が3.3%、過去5年以内は34.1%、過去10年以内で59.7%であった。



(8) 人工呼吸器装着年月

- 人工呼吸器を装着している利用者の人工呼吸器装着年月日は過去 1 年以内が 17.4%、過去 5 年以内は 68.8%、過去 10 年以内で 88.1% とほとんどを占めている。

図表 41 人工呼吸器装着年月日

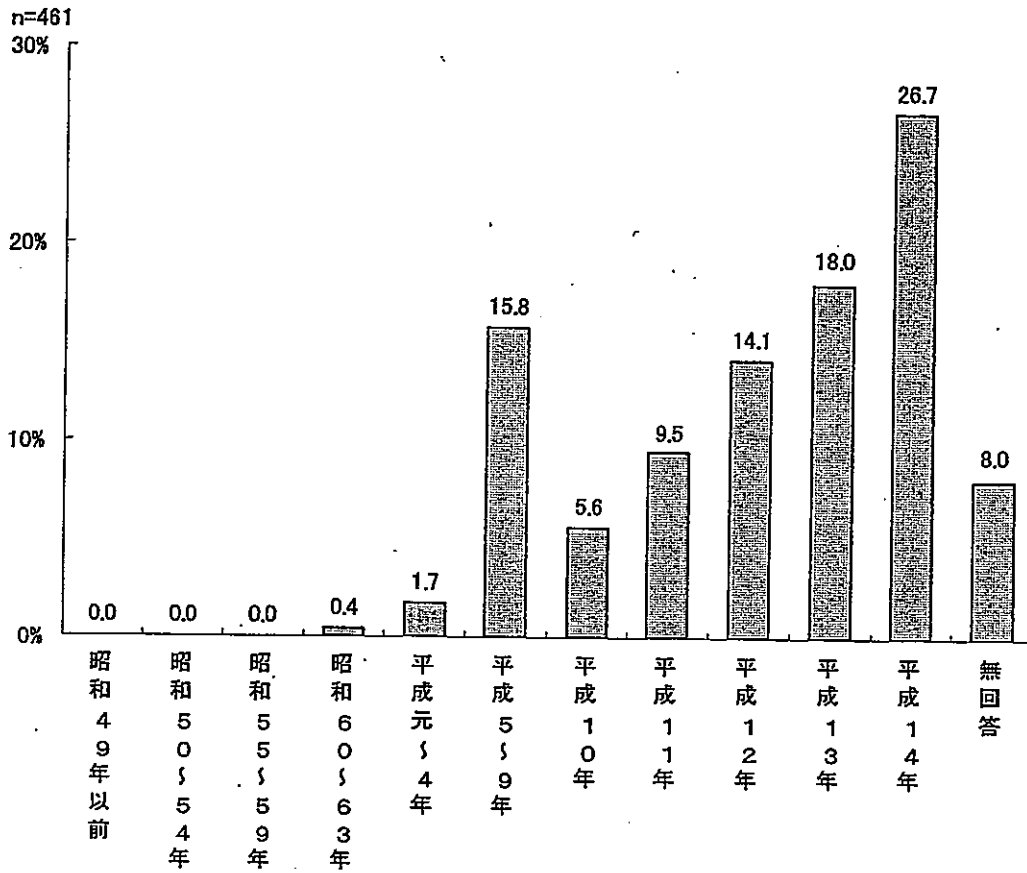


↑
H7
705.00

(9) 呼吸器装着後の在宅療養開始年月日

- 人工呼吸器を装着している利用者の呼吸器装着後の在宅療養開始年月日は過去1年が26.7%、過去5年は73.9%、過去10年で89.7%とほとんどを占めている。

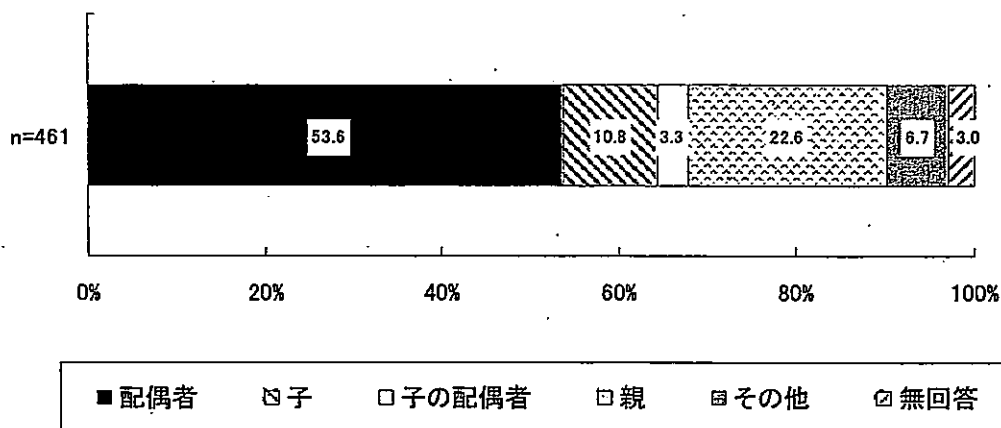
図表 42 利用者の在宅療養開始年月日



(10) 主介護者

- 人工呼吸器を装着している利用者の主介護者で最も多かったのは「配偶者」53.6%、次いで多かったのは「親」22.6%、「子」10.8%などであった。

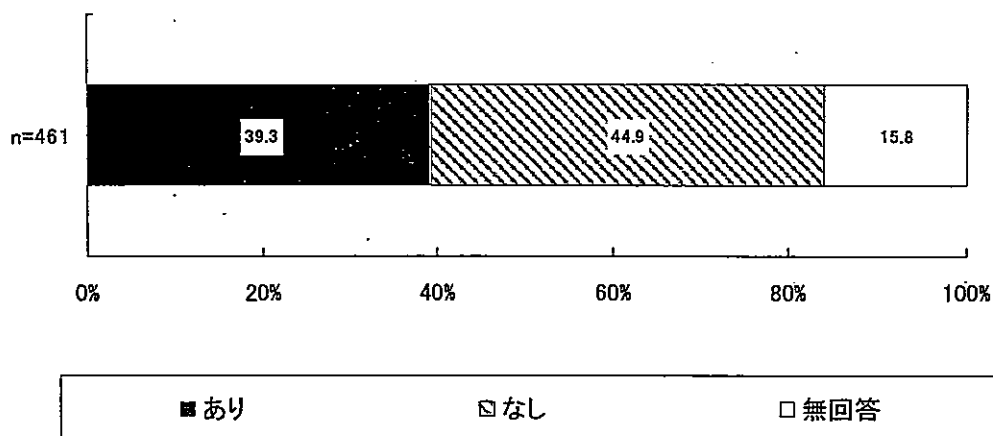
図表 43 主介護者



(11) 副介護者

- 人工呼吸器を装着している利用者で副介護者（週1回程度の頻度で終日主介護者に代わって介護する方）がいるのは39.3%、いないのは44.9%であった。

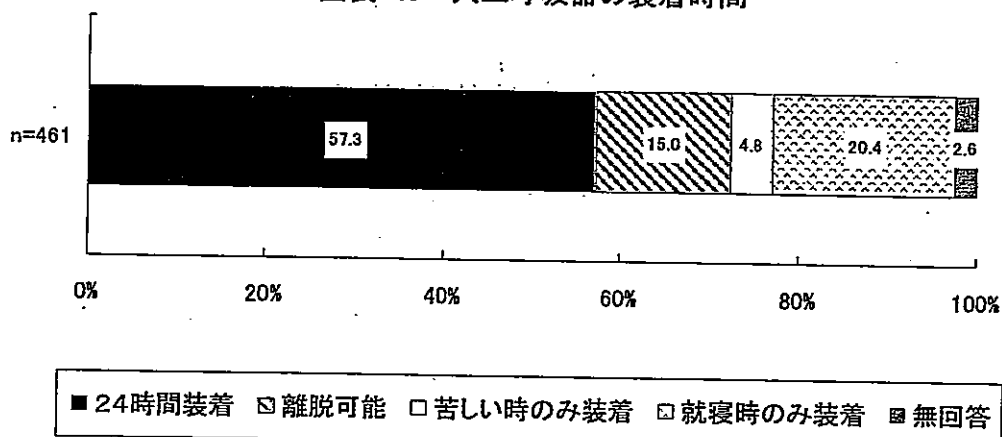
図表 44 副介護者



(12) 人工呼吸器の装着時間

- 人工呼吸器を装着している利用者の人工呼吸器の装着時間としては「24時間装着」57.3%が最も多く、次いで「就寝時のみ装着」20.4%、「着脱可能」15.0%などであった。
- また、着脱可能な場合、その時間の平均は69.3分だった。

図表 45 人工呼吸器の装着時間



図表 46 人工呼吸器の着脱可能平均時間

